

謹賀新年

平成30年 年頭のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年の行方市長選挙では、多くの皆さまの温かいご支援を賜り、2期目の市政を担わせていただくことになりました。皆さまの信頼と期待にお応えできるよう、初心を忘れることなく、本市の発展に全力で取り組んでまいれる所存です。

さて、昨年は、JANA（なめがた甘藷部会連絡会）が、2月に「日本農業賞大賞」を、11月に「第56回農林水産祭天皇杯」を受賞するという、大変喜ばしい出来事がありました。名誉ある受賞に、本市の基幹産業である農業がより元気づき、担い手の育成や農畜水産物のブランド化が進むことを期待しています。

また4月には、子育て世代包括支援センター「どれみ」がオープンしました。

若い世代が結婚し、安心して子どもを産み育てることのできる環境の充実は、今後のまちづくりの鍵となります。皆さまが「笑顔で住み続けたいまち、行方」と実感できるよう、皆さまの実情とニーズに合ったサービスに取り組んでまいります。

本市の地方創生の基本的方向性を示した「総合戦略書」の策定から間もなく2年が経過しますが、戦略書に掲げた政策を着実に実現するためには、公共施設の再編や行政改革と一体的に進めていくことが不可欠です。本年の干支である「戌」の縁起のように、身の丈にあった行政運営を進め、限られた財源・資源を有機的に活用した将来へつなぐ事業を展開してまいります。

また、本年10月は、茨城県で開催される第17回世界湖沼会議に合わせて、全国環境自治体会議「第26回全国大会なめがた会議」を開催します。本市の環境保全

に係る取り組みの紹介を通して、水辺の環境保全に対する意識高揚を図ってまいります。

本年も、皆さまの声に耳を傾けながら、市民・地域・行政が一体となった「市民協働・共創」のまちづくりを推進してまいりますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。本年が皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



将来へつなぐ、

笑顔あふれるまちづくりを

行方市長 鈴木 周也



笑顔で住み続けたいまち、行方

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日ごろから、市議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援ご協力に対し、改めまして、厚くお礼申し上げます。

新たな年を迎え、行方市議会といたしましても、二元代表制の一翼を担う意思決定機関、行政の監視機関として、市民の皆さまの負託に応えていくため、心新たに取り組んでいく所存でございます。

これまで、市民の皆さまにわかりやすい議会、開かれた議会を目指し、議会の改革に取り組んでまいりました。

昨年の6月から、防災対応型エリア放送（なめテレ）により議会中継をお茶の間のテレビでご覧いただける

ようになりました。どうぞ、「議会中継」や「議会だより」などにより、議会活動をご理解いただくとともに、

住民の皆さまの声をまちづくりに反映させていくため、忌憚きたんのないご意見をいただきますようお願い申し上げます。

今後、地方自治体への行政需要はますます増大してまいります。市町村合併に伴い特例的に措置されていた交付税が縮減するなど、厳しい財政状況が想定されます。さらなる行政改革、歳出削減を進めるため、「あれもこれも」ではなく、「あれかこれか」と選択していくことが必要となってまいります。

議会としても、市民の皆さまのご意見を踏まえた、独自に事務事業を評価していくなどして、予算決算に反映させていく取り組みが求められてまいります。

市議会の活動が、市民の



皆さまにとってわかりやすく、ご理解いただけるよう、開かれた議会を目指し、議会の機能強化と充実、運営の改善等を引き続き推進してまいりますので、市民の皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。結びに、本年が皆さまにとりまして幸多い年となりますことを心から祈念いたします。新年のごあいさつといたします。

わかりやすく、

行動する議会を目指して

行方市議会議長 鈴木 義浩